

スポット受講
詳細は2ページ
料金
1,000円/回
3回限り



期間 令和6年6月1日(土)～令和6年8月3日(土) [全6回]

実施場所 九州女子大学 弘明館
〒807-8586 八幡西区自由ヶ丘1-1 (28ページアクセス参照)

申込・問合せ先 九州女子大学・九州女子短期大学 地域教育実践研究センター
〒807-8586 八幡西区自由ヶ丘1-1
TEL:693-3134 FAX:603-6453

時間 10:30～12:00

応募締切

5月17日(金)

スマートフォンからも
お申込みできます▶



定員 20名

受講料 4,500円

受講生への
メッセージ

実施機関：九州女子大学・九州女子短期大学 地域教育実践研究センター

多様な文化的背景を持つ人たちが共存・共生していくことが求められています。さまざまな文化を「知る」こと、「理解する」ことが、共生のための第一歩だと思えます。文学や芸術作品などを通して、日本や他国の文化と私たちの考え方や生き方の背景にあるもの、価値観を味わいながら学ぶ講座を開催します。週末のひとつ、共に知の旅を楽しみましょう。

回数	月日	テーマ・内容	担当講師
1	6/1 (土)	『萬葉集』の基礎知識～九州の歌～ 「令和」という年号の出典となった『萬葉集』は、九州に深い関わりがあります。『萬葉集』についての基礎知識を身につけて、九州に関わる様々な歌を鑑賞しましょう。	九州女子大学 講師 安井 絢子 専門は日本の上代文学。『萬葉集』の歌の表現について研究しています。
2	6/22 (土)	青銅器銘文を読んでみよう!! 一見、難解そうな銘文。しかし、漢字の成り立ちと、そこに隠れている日常的慣習や中国の哲学・思想についても考え、古代文字のおもしろさを、一緒に再発見しましょう。	九州女子大学 准教授 古木 誠彦 書家。古代中国の青銅器銘文・碑文、中国の古典籍研究を主としています。
3	6/29 (土)	群読の魅力 群読は、「共に声を出す」「声を上げる」文化です。「祭だ わっしょい」(北原白秋)等の群読を通して、互いの声か他を刺激し、波及し合っていく魅力を一緒に体験しましょう。	九州女子大学 教授 江口 恵子 専門は国語科教育法(教職)。日本語表現法も担当しています。
4	7/6 (土)	遠藤周作『深い河』を読む 現代社会は、宗教をめぐるさまざまな問題に直面していますが、一方で「信じる」ことの本質という根源的な問いは置き去りにされています。文学作品を通して「宗教とは何か」を考えます。	九州女子大学 教授 古浦 修子 専門は近現代の日本文学。授業では夏目漱石・遠藤周作の作を講読しています。
5	7/27 (土)	民衆文化に憧れた職業詩人たち イギリス19世紀の職業詩人たちは素朴な民衆文化に憧れ、伝承バラッドと呼ばれる歌のリフレインのテクニクを模倣して、複雑な感情を表現する技法を展開しました。民衆文化の英詩への影響力を再考します。	九州女子大学 教授 中島 久代 専門は国語科教育法(教職)。英語圏の伝承文学のイギリス・スコットランド詩への影響を研究しています。
6	8/3 (土)	江戸の怪談 江戸時代の人びとは、現代の私たちが思っている以上に怪談好きです。江戸時代の人びとの「怪談」に対する考えを、昨年は小説を対象としましたが、今年は歌舞伎なども交えて探っていきます。	九州女子大学 非常勤講師 樫澤 葉子 専門は日本近世文学。末期浮世草子から初期読本にいたる散文史を研究しています。